重要

令和８年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト

受　験　上　の　注　意

受験に当たっては，この「受験上の注意」と「受験案内」をよく読んでください。

次の⑴～⑸は，試験当日に特に留意してほしい点です。

⑴　試験当日は，大学入学共通テストの出願サイト（以下，「共通テスト出願サイト」という。）のマイページから各自で取得・印刷した「受験票」を必ず持参してください。スマートフォン等での画面表示では試験場に入場できません。（➔6 ページ）

⑵　受験票に一切書き込みをしないでください。カンニングとみなされた場合は，不正行為となります。（➔7 ページ）

⑶　今年度の大学入学共通テストから，試験当日は，身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり，顔写真付きで，試験日において有効なもの。））の持参を必須とします。不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など，本人確認のために提示を求めることがあります。（➔9 ページ）

⑷　試験時間中，監督者が試験室内の巡視を行います。その際，監督者が顔を上げるよう指示することや，マスクや眼鏡，帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。また，不正行為に見えるような行為は，監督者が注意する場合があります。

⑸　不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を指示され，それ以後の受験はできなくなります。また，受験した大学入学共通テストの全ての教科・科目の成績を無効とします。なお，不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。（➔11 ページ）

大学入試センターのウェブサイトに以下の資料を掲載していますので，確認してください。

○　大学入試センターウェブサイト「令和８年度試験」
https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r8/

（掲載資料）

- 志願者向け説明動画
- 共通テスト Q&A（よくある質問）
- 試験問題冊子の注意事項及び解答用紙の様式について
- 解答科目欄及び出題範囲欄の不適切なマーク例

目　　次

1　試験実施期日等 3ページ
2　受験教科・科目 4
3　受験票 6
4　試験当日の注意事項 8
5　試験時間中の注意事項 9
6　受験上の配慮の通知等 14
7　リスニング 14
8　試験問題冊子及び解答用紙 18
9　追試験の実施 20
10　正解・平均点等の発表 23
11　試験成績の大学への提供方法 23
12　東日本大震災に伴う令和8年度大学入学共通テストに関する措置について 24

試験当日の所持品チェック欄 26
大学入学共通テストについての問合せ先 26

1　試験実施期日等

<table>
<tr><th>試験期日</th><th>出題教科</th><th>出題科目</th><th>受 験 者
入室終了</th><th>試験開始</th><th>試験終了</th></tr>
<tr><td rowspan="5">令和８年
１月 17 日（土）</td><td rowspan="2">地理歴史
公　　民</td><td rowspan="2">『地理総合，地理探究』
『歴史総合，日本史探究』
『歴史総合，世界史探究』
『公共，倫理』『公共，政治・経済』
『地理総合／歴史総合／公共』</td><td colspan="3">２科目登録者</td></tr>
<tr><td>9:00 まで</td><td>9:30</td><td>11:40</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">１科目登録者</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>10:10 まで</td><td>10:40</td><td>11:40</td></tr>
<tr><td>国　語</td><td>『国語』</td><td>12:45 まで</td><td>13:00</td><td>14:30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語</td><td>『英語』【リーディング】
『ドイツ語』『フランス語』『中国語』
『韓国語』【筆記】</td><td>15:05 まで</td><td>15:20</td><td>16:40</td></tr>
<tr><td>『英語』【リスニング】</td><td>17:15 まで</td><td>17:20</td><td>18:20</td></tr>
<tr><td rowspan="6">１月 18 日（日）</td><td rowspan="2">理　科</td><td rowspan="2">『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』
『物理』『化学』『生物』『地学』</td><td colspan="3">２科目登録者</td></tr>
<tr><td>9:00 まで</td><td>9:30</td><td>11:40</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="3">１科目登録者</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>10:10 まで</td><td>10:40</td><td>11:40</td></tr>
<tr><td>数学①</td><td>『数学Ⅰ，数学 A』『数学Ⅰ』</td><td>12:45 まで</td><td>13:00</td><td>14:10</td></tr>
<tr><td>数学②</td><td>『数学Ⅱ，数学 B，数学 C』</td><td>14:45 まで</td><td>15:00</td><td>16:10</td></tr>
<tr><td></td><td>情　報</td><td>『情報Ⅰ』</td><td>16:45 まで</td><td>17:00</td><td>18:00</td></tr>
</table>

(注 1)　「地理歴史，公民」及び「理科」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合は，試験当日に 1 科目のみを受験することはできません。このため，遅刻者の試験室への入室限度（9：50）までに入室しないと，後半の第 2 解答科目を含めて，その試験時間は一切受験することができません。

　また，第 1 解答科目のみを受験し，途中退室することもできません。

(注 2)　「地理歴史，公民」及び「理科」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合は，解答順に第 1 解答科目及び第 2 解答科目に区分し各 60 分間で解答を行いますが，第 1 解答科目及び第 2 解答科目の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え，試験時間は 130 分とします。

　なお，答案回収等を行うための時間中に問題冊子を開いたり，試験室から退室することはできません。トイレ等を理由にやむを得ず退室する場合でも一時退室を理由に解答開始時刻の繰下げや試験時間の延長は認められません。

(注 3)　リスニングは，音声問題を用い 30 分間で解答を行いますが，解答開始前に受験者に配付する IC プレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え，試験時間は 60 分とします。

2　受験教科・科目

⑴　受験教科・科目に関する事項は，受験票に表示していますので，登録内容と受験票の表示内容に誤りがないかを確認してください。

　また，出願内容の確認・訂正期間等に，出願内容を訂正した場合は，訂正した内容のとおり表示されているかを確認してください。

　万一，表示内容に誤りがある場合は，直ちに大学入試センター事業第１課（➔26 ページ）に電話で連絡してください。

⑵　試験当日は，受験票の受験教科名欄に「○」が表示された教科（登録した教科）以外を受験することはできません。万一，登録していない教科（「―」が表示された教科）を受験しても，その教科は採点されません。

⑶　**「地理歴史，公民」及び「理科」について，受験票の備考欄に「登録科目数 2」と表示されている場合は，試験当日に１科目のみを受験する（1 科目だけ受験を取りやめる）ことはできません。**

　同様に，**「登録科目数 1」と表示されている場合は，試験当日に 2 科目を受験することはできません。**

⑷　**「地理歴史，公民」及び「理科」について，受験票の備考欄に「登録科目数 2」と表示されている場合は，志望大学の募集要項等で，第 1 解答科目と第 2 解答科目の取扱いを確認の上，第 1 解答科目と第 2 解答科目の解答順を決定してください。**

⑸　「地理歴史，公民」を受験する場合は，登録した受験科目数（1 科目又は 2 科目）に従って，試験当日に地理歴史と公民を合わせた 6 科目の中から選択し，解答することができます。

　ただし，**2 科目受験する場合は，下表のとおり，選択して解答することができない組合せがあります。**

（解答順は順不同）		(b)必履修科目と選択科目を組み合わせた出題科目					(a)必履修科目を組み合わせた出題科目		
		『地理総合，地理探究』	『歴史総合，日本史探究』	『歴史総合，世界史探究』	『公共，倫理』	『公共，政治・経済』	『地理総合／歴史総合／公共』（三つのうち二つを解答）		
							「地理総合」と「歴史総合」	「地理総合」と「公共」	「歴史総合」と「公共」
(b)	『地理総合，地理探究』		○	○	○	○	×	×	○
	『歴史総合，日本史探究』	○		○	○	○	×	○	×
	『歴史総合，世界史探究』	○	○		○	○	×	○	×
	『公共，倫理』	○	○	○		×	○	×	×
	『公共，政治・経済』	○	○	○	×		○	×	×

○は選択可能な組合せ，×は選択不可な組合せ

※ (b)の 5 科目のうちから 1 科目及び(a)の計 2 科目を受験する場合は，『地理総合／歴史総合／公共』の中で選択解答するものと同じ名称を含む科目は選択できません。

※ (b)の 5 科目のうちから計 2 科目を受験する場合は，『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せは選択できません。

⑹　**「地理歴史，公民」における『地理総合／歴史総合／公共』は，「地理総合」「歴史総合」「公共」の三つの出題範囲の中から二つを選択解答しますが，科目数としては 1 科目です。『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合は，試験時間 60 分で必ず二つの出題範囲を選択解答してください。解答する順序，時間配分は自由です。**

⑺ **「理科」における『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は，「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」の四つの出題範囲の中から二つを選択解答しますが，科目数としては 1 科目です。『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択する場合は，試験時間 60 分で必ず二つの出題範囲を選択解答してください。解答する順序，時間配分は自由です。**

⑻ 「理科」を 2 科目受験する場合は，同一名称を含む科目と出題範囲の組合せで 2 科目を選択して解答することができます。（例えば，第 1 解答科目で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択し，「物理基礎」と「化学基礎」を解答，第 2 解答科目で『物理』を選択し，解答することもできます。）

ただし，大学によっては科目選択の組合せに制限をしている場合もありますので，志望大学の募集要項等で，「理科」の科目選択の取扱いを確認してから受験してください。

⑼ 「外国語」において『英語』を選択する受験者は，原則として，リーディングとリスニングの両方を受験してください。

なお，『英語』以外の「外国語（筆記）」を受験した場合，リスニングを受験することはできません。

⑽ 「外国語」において，別冊子試験問題の配付希望を登録しなかった場合は，別冊子試験問題の科目を受験することはできません。

⑾ 大学入学共通テストでは，高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）での履修の有無により受験科目を制限することはありませんので，履修していない科目を選択し，解答することができます。

ただし，大学によっては，認めていない場合もありますので，志望大学の募集要項等で，大学入学共通テストの科目選択の取扱いを確認してから受験してください。

⑿ 自分が受験する科目については，事前に志望大学の募集要項等で必ず確認してから受験してください。試験当日，監督者等に質問しても答えることはできません。

3　受験票

受験票は，共通テスト出願サイトのマイページから各自で取得・印刷し，試験当日に持参してください。郵送は行いません。なお，スマートフォン等での画面表示では試験場に入場できません。

⑴　取得期間

令和 7 年 12 月 10 日（水）10：00～令和 8 年 4 月 30 日（木）23：59

⑵　取得方法

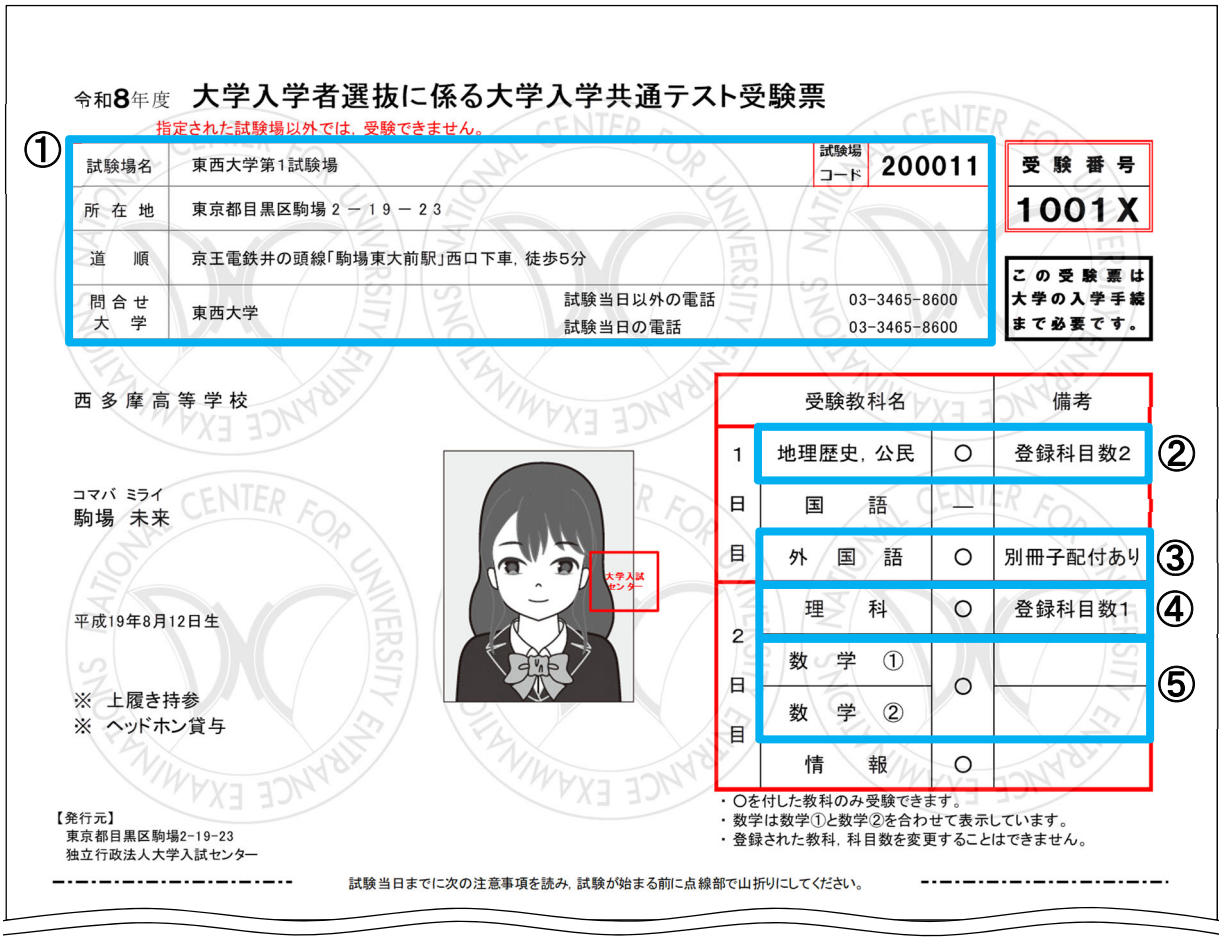
①　共通テスト出願サイトのマイページにログインし，トップページの「受験票」を選択します。

②　受験票の PDF ファイルが表示されるので，ページの拡大・縮小はせずに，A4 サイズの白色の用紙に縦向きで印刷してください。カラー・白黒は問いません。

なお，自宅にプリンターがない場合は，コンビニエンスストアのプリントサービス等や学校，公共施設等で印刷してください。

⑶　受験票を確認する際のポイント

受験票の表示内容について 4 ページの「**2　受験教科・科目**」を読んで必ず確認してください。**特に以下の①～⑤は注意して確認してください。**



令和8年度　大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験票

指定された試験場以外では，受験できません。

①

試験場名	東西大学第1試験場	試験場コード	200011
所在地	東京都目黒区駒場２－１９－２３		
道順	京王電鉄井の頭線「駒場東大前駅」西口下車，徒歩5分		
問合せ大学	東西大学	試験当日以外の電話	03-3465-8600
		試験当日の電話	03-3465-8600

受験番号　1001X

この受験票は大学の入学手続まで必要です。

西多摩高等学校

コマバ ミライ
駒場　未来

平成19年8月12日生

※　上履き持参
※　ヘッドホン貸与

大学入試センター

	受験教科名		備考	
1日目	地理歴史，公民	○	登録科目数2	②
	国語	—		
	外国語	○	別冊子配付あり	③
2日目	理科	○	登録科目数1	④
	数学①	○		⑤
	数学②			
	情報	○		

・○を付した教科のみ受験できます。
・数学は数学①と数学②を合わせて表示しています。
・登録された教科，科目数を変更することはできません。

【発行元】
東京都目黒区駒場2-19-23
独立行政法人大学入試センター

試験当日までに次の注意事項を読み，試験が始まる前に点線部で山折りにしてください。

① 試験場

・ この欄で自分が指定された試験場を必ず確認してください。なお，指定された試験場以外では受験できません。

・ 「地理歴史，公民」及び「理科」の受験する科目数の組合せなどにより，同じ学校の志願者が別々の試験場に指定されている場合がありますので，注意してください。

・ 試験当日は余裕を持って試験場に到着できるよう，試験場までの道順を事前に確認（下見）するようにしてください。

② 地理歴史，公民の登録状況

「地理歴史，公民」を「受験する」と登録した場合，備考欄に登録した科目数が表示されています。

例えば，備考欄に「登録科目数 2」という表示があるのは，「地理歴史，公民の中から 2 科目受験する」という意味です。

③ 外国語の登録状況（別冊子試験問題）

「外国語」を受験する者で，別冊子試験問題の配付希望を登録した場合のみ，備考欄に「別冊子配付あり」と表示されています。

なお，別冊子の配付希望を登録した場合でも，「外国語〔『英語（リーディング）』〕」の問題冊子も同時に配付されますので，当該科目を選択することもできます。

④ 理科の登録状況

「理科」を「受験する」と登録した場合，備考欄に登録した科目数が表示されています。

例えば，備考欄に「登録科目数 2」という表示があるのは，「理科の中から 2 科目受験する」という意味です。

⑤ 数学の登録状況

・ 「数学」を「受験する」と登録した場合，「数学①」と「数学②」にまとめて一つの「○」が表示されています。

・ 「○」が表示されている場合は，試験当日に「数学①」と「数学②」の両方又はいずれか一方のみ受験することが可能です。

⑷ 受験票の取扱い

① **試験当日は常に受験票を携帯する必要があります。**

② **受験票に一切書き込みをしないでください。カンニングとみなされた場合は，不正行為となります。**

③ 試験当日に，受験票を紛失又は持参し忘れた場合には，試験場本部に行き，仮受験票の交付を受けてください。（試験場本部の場所は，試験当日，試験場で確認してください。）

ただし，受験者入室終了時刻（➔3 ページ）までに試験場本部に行く時間がない場合は，試験室に行き，監督者に申し出てください。

④ 顔写真ではなく「顔写真否認」と表示されている受験票は，試験当日使用できません。試験当日はマイページから取得・印刷した受験票を持参の上，早めに試験場本部に行き，仮受験票の交付を受けてください。

⑤　出願時に共通テスト出願サイトにアップロードした顔写真は，受験票に表示されるほか，試験場の大学にも提供し，試験当日，本人確認のために使用します。また，志願者が大学入学共通テストを利用した選抜区分に出願した大学に対して提供します。

⑥　**受験票は，各大学が実施する教科・科目に係る個別テスト等の当日及び入学手続の際にも必要**となる場合がありますので，大学入学共通テスト終了後も大切に保管しておいてください。

4　試験当日の注意事項

⑴　自分が受験する教科・科目の試験室への**受験者入室終了時刻**（➔3 ページ）までに，指定された試験場の試験室に入室してください。試験室の位置等は，試験場入口の掲示又は印刷物により確認してください。

また，受験者以外の試験場への入場は，受験上の配慮として付添者の同伴を許可された場合に限ります。許可のない保護者等の入場はできません。

なお，**指定された試験場以外では，受験できません。**

⑵　自分が受験しない試験時間も，他の試験室では試験を実施していますので，試験場内では，騒いだり，大声を出したりしないでください。

⑶　受験教科として登録していない教科の試験時間は，試験室に入室できません。

⑷　試験室では，机の上に貼付してある「受験番号票」（➔25 ページ）に表示されている受験番号が受験票のものと同一であることを確認して，着席してください。

⑸　試験開始時刻に遅刻した場合は，**試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り，受験を認めます。**

ただし，**『英語（リスニング）』は試験開始時刻（17：20）までに**入室していない場合，受験することができません。

また，**「地理歴史，公民」及び「理科」の試験時間において「2 科目受験する」と登録した場合は，遅刻者の試験室への入室限度（9：50）までに入室しないと，後半の第 2 解答科目を含めて，その試験時間は一切受験することができません。**(試験当日に 1 科目のみの受験に変更することはできません。)

遅刻の理由が事故等の場合は，係員に申し出てください。

⑹　試験当日，**交通機関の事故又は災害等が発生した場合**は，試験開始時刻を繰り下げることがあります。**受験票に記載されている「問合せ大学」へ連絡し，試験場に向かってください。**

⑺　受験票に**「上履き持参」**と表示されている場合は，**「上履き」と「下履きを入れる袋」**を持参してください。

⑻　自動車，バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止します。

⑼　**インフルエンザ，ノロウイルス，新型コロナウイルス等の感染症に罹患し，治癒していない場合は，他の受験者や監督者等に感染するおそれがあるため受験できません。追試験の受験を申請してください。**

また，試験当日に発熱・咳等の症状があるなど，体調が万全でない場合は，無理して受験せず，追試験の受験を申請してください。（➔20 ページ）

⑽　試験場においては，監督者等の指示に従ってください。（監督者等の指示に従わない場合は不正行為となることがあります。（➔11 ページ））

⑾ **今年度の大学入学共通テストから，試験当日は，身分証明書（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり，顔写真付きで，試験日において有効なもの。））の持参を必須とします。**不正行為が疑われる場合や受験票を持参し忘れた場合など，本人確認のために提示を求めることがあります。

⑿ 試験終了後であっても，大学入学共通テストの試験問題をSNSに投稿する等，インターネット上に掲載することはしないでください。

5 試験時間中の注意事項

⑴ 所持品の取扱い

① **受験票**は中央部分を山折りにして，上部が見えるようにし，必ず机の上に置いてください。

② 受験票のほかに試験時間中，机の上に置けるものは，次のとおりです。

- **黒鉛筆**（H，F，HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。），**鉛筆キャップ**
- **シャープペンシル**（メモや計算に使用する場合のみ可，黒い芯に限る。）
- **プラスチック製の消しゴム**
- **鉛筆削り**（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
- **時計**（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）
- **眼鏡**，**ハンカチ**，**目薬**，**ティッシュペーパー**（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

これ以外の所持品を使用又は置いている場合には，解答を一時中断させて，試験終了まで預かることがあります。

③ 机の上に置けるものについては，机の上に貼付してある「受験番号票」（➔25ページ）にも表示しています。試験当日は，この表示や監督者の指示に従ってください。

④ サポーター，テーピング，包帯，湿布，ギプス，眼帯，コルセットを着用したまま受験することはできますが，試験時間中に着脱する場合は，監督者に申し出て許可を得てください。

⑤ 座布団，クッション，タオル，ひざ掛け，手袋（多汗症用を含む。）の使用を希望する場合は，試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。（受験上の配慮を申請し，これらの使用について許可されている場合には，改めて監督者に申し出て許可を得る必要はありません。）

⑥ 出願後の不慮の事故等により，試験時間中，机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は，受験案内47ページ「4 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮」を参照してください。

⑦ 試験時間中に，次のものを**使用してはいけません。**

- **定規**（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。），**コンパス**，**電卓**，**そろばん**，**グラフ用紙等の補助具**
- **携帯電話**，**スマートフォン**，**ウェアラブル端末**（スマートウォッチやスマートグラス等。），**タブレット端末**，**電子辞書**，**IC レコーダー**，**イヤホン**，**音楽プレーヤー等の電子機器類**（リスニングの試験時間に配付するICプレーヤー，イヤホン及び音声メモリーは除く。）

これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず，**身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。**

なお，**イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。**（➔11 ページ）（出願後の不慮の事故等により，試験時間中，補聴器等を使用したい場合は，受験案内 47 ページ「4 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮」を参照してください。）

⑧ 試験時間中に**使用してはいけない電子機器類は，受験する教科・科目の試験室への受験者入室終了時刻（➔3 ページ）までに，必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。**試験開始前に，監督者の指示で電源が切られているか等の確認を行います。

なお，試験時間中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には，監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し，試験場本部で当該試験時間終了まで保管します。

⑨ 耳栓は，監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。

⑩ 試験室内で，コート類を着用しても差し支えありません。

英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には，脱いでもらうことがあります。

⑵ 試験時間中の監督者の巡視

試験時間中，監督者が試験室内の巡視を行います。その際，監督者が顔を上げるよう指示することや，マスクや眼鏡，帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。

また，不正行為に見えるような行為は，監督者が注意する場合があります。

⑶　不正行為

①　次のことをすると**不正行為となります**。不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を指示され，**それ以後の受験はできなくなります。**また，**受験した大学入学共通テストの全ての教科・科目の成績を無効とします**。なお，**不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。**

ア　共通テスト出願サイトから取得した受験票等の内容を改ざんすること。

イ　解答用紙へ**故意に虚偽の記入**（本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。

ウ　**カンニング**（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること，教科書，参考書，辞書等の書籍類の内容を見ること，他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど。）をすること。

エ　他の受験者に**答えを教えたりカンニングの手助け**をすること。

オ　**配付された問題冊子を，その試験時間が終了する前に試験室から持ち出す**こと。

カ　**解答用紙を試験室から持ち出す**こと。

キ　「解答はじめ。」の指示の前に，**問題冊子を開いたり解答を始める**こと。

ク　試験時間中に，**定規**（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。），**コンパス**，**電卓**，**そろばん**，**グラフ用紙等の補助具**を使用すること。

ケ　試験時間中に，**携帯電話**，**スマートフォン**，**ウェアラブル端末**（スマートウォッチやスマートグラス等。），**タブレット端末**，**電子辞書**，**IC レコーダー**，**イヤホン**，**音楽プレーヤー等の電子機器類**（➔注）を使用すること。

※　**イヤホンについては，耳に装着していれば使用しているものとします。**（出願後の不慮の事故等により，試験時間中，補聴器等を使用したい場合は，受験案内 47 ページ「4 出願後の不慮の事故等による受験上の配慮」を参照してください。）

コ　「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず，**鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続ける**こと。

②　上記①以外にも，次のことをすると**不正行為となることがあります**。指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いは，①と同様です。

ア　試験時間中に，定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。），コンパス，電卓，そろばん，グラフ用紙等の補助具や携帯電話，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。），タブレット端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン，音楽プレーヤー等の電子機器類（➔注），教科書，参考書，辞書等の書籍類をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていること。

イ　試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど，試験の進行に影響を与えること。

ウ　監督者の指示に従わず，IC プレーヤーを操作したり，IC プレーヤーの不具合について虚偽の申出をすること。

エ　IC プレーヤー，イヤホン及び音声メモリーを試験室から持ち出すこと。

オ　試験に関することについて，自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

カ　試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

キ　試験場において監督者等の指示に従わないこと。

ク　その他，試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

（注）リスニングの試験時間に配付する IC プレーヤー，イヤホン及び音声メモリーは除く。

⑷　解答上の注意事項

①　受験者入室終了後，試験開始までの間に受験に当たっての注意事項等の説明，問題冊子・解答用紙の配付等が行われます。

なお，「地理歴史，公民」及び「理科」の試験時間に 2 科目を受験する場合は，第 1 解答科目と第 2 解答科目の解答開始前にそれぞれ 1 枚ずつ解答用紙の配付を行います。第 1 解答科目，第 2 解答科目ともに 1 科目 60 分で解答してください。

②　「地理歴史，公民」については，全ての受験者にパッケージ化された「地理歴史，公民①」と「地理歴史，公民②」の 2 冊の問題冊子が配付されます。解答に使用しない問題冊子についても，必ず机上に置いてください。万一，かばん等にしまうと，不正行為と判断されることがありますので十分注意してください。

また，「外国語」で別冊子試験問題の配付希望を登録した場合も 2 冊の問題冊子が配付されますので，2 冊とも机上に置いてください。

③　**解答には，必ず黒鉛筆**（H，F，HB に限る。）及び**プラスチック製の消しゴム**を使用してください。黒鉛筆以外のもの（シャープペンシル等）を使用してマークした場合には，解答が読み取れないことがありますので，使用しないでください。

④　解答は，解答用紙の「マーク例」に従って，正しくマークしてください。マークが薄い場合，一部分しかマークしていない場合，訂正箇所を消しゴムできれいに消していない（消し跡が残っている）場合は，解答が正しく読み取れないことがあります。

⑸　受験番号・解答科目等欄記入時の注意事項

大学入試センターのウェブサイトの「試験問題冊子の注意事項及び解答用紙の様式について」に，解答用紙の一部を掲載しています。以下の①～⑦の内容を確認する際に，参照してください。

試験問題冊子の注意事項及び解答用紙の様式について
https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r8/#youshiki

①　解答用紙の所定欄に受験番号，氏名，フリガナ，試験場コード，解答科目や出題範囲等を監督者の指示に従い，正しく記入，マークしてください。（➔19 ページ）

受験番号が正しくマークされていない場合は，採点できないことがあります。解答用紙の受験番号のマークに当たっては，次のア～エのようなマークミスが多いので，注意してください。

ア　間違った数字にマーク。（例えば 1 を 0 にマーク，2 を 1 にマーク）
イ　隣り合う数字を逆の順序でマーク。（例えば 1234 を 1324 のように入れ替えてマーク）
ウ　英字のマークがない。
エ　数字・英字の全てにマークがない。

②　解答用紙の受験番号欄の右横の英字は，マークした英字が何であったかを，受験者がマーク後も確認できるように記載されているものです。この英字にマークしたり，〇で囲むことはしないでください。

③　「地理歴史，公民」，「外国語」，「理科」及び「数学①」の解答用紙には解答科目欄がありますので，**解答する科目を一つだけマーク**してください。

「地理歴史，公民」において**『地理総合／歴史総合／公共』**を選択する場合，及び「理科」において**『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』**を選択する場合は，監督者の指示に従い**第１面にある解答科目欄に当該科目をマークした上で，第 2 面にある二つの出題範囲欄に解答する出題範囲をそれぞれ一つずつマーク**してください。

なお，解答科目欄において『地理総合／歴史総合／公共』，『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』以外の科目をマークしている場合は，出題範囲欄にマークしていても，解答科目欄にマークされている科目として採点します。

④　**解答用紙に解答科目（又は出題範囲）がマークされていない場合又は複数の科目（又は出題範囲）にマークされている場合は，解答科目（又は出題範囲）が特定できないため，０点（「科目不明」又は「出題範囲不明」）**となります。

ただし，**次の事例のように解答科目が特定できる場合は，特定できた科目として採点します。**

ア　地理歴史，公民・・・　解答科目欄にマークしていないが，出題範囲欄にはマークしている場合は，『地理総合／歴史総合／公共』がマークされているものとみなし，『地理総合／歴史総合／公共』として採点します。

イ　理科・・・　解答科目欄にマークしていないが，出題範囲欄にはマークしている場合は，『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』がマークされているものとみなし，『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』として採点します。

ウ　外国語・・・　別冊子試験問題の配付希望を登録していない場合は，別冊子試験問題が配付されていないため，解答科目欄のマーク状況にかかわらず『英語（リーディング）』として採点します。

（注）別冊子試験問題の配付希望を登録した者は，追試験では，追試験受験申請時に申請した科目のみの試験問題が配付されるため，申請科目で採点します。

⑤　「地理歴史，公民」の２ 科目受験者が，**同じ科目をマークしている場合**や，**選択できない科目の組合せ（➔4 ページ）をマークしている場合**は，第１ 解答科目はマークしている科目を通常どおり採点し，**第２ 解答科目は０ 点（「科目不明」）**として取り扱います。

また，「理科」の２ 科目受験者が，**同じ科目をマークしている場合**は，第１ 解答科目はマークしている科目を通常どおり採点し，**第２ 解答科目は０ 点（「科目不明」）**として取り扱います。

⑥　「地理歴史，公民」における『地理総合／歴史総合／公共』又は「理科」における『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を解答科目とし，**二つの出題範囲欄のうち一方の出題範囲欄にマークされていない場合**は，マークしている出題範囲のみ採点し，**もう一方の出題範囲は０点（「出題範囲不明」）**として取り扱います。

また，二つの出題範囲欄のうち一方の出題範囲欄において，**複数の出題範囲がマークされている場合**は，正しくマークしている出題範囲のみ採点し，**もう一方の出題範囲は０点（「出題範囲不明」）**として取り扱います。

⑦　「地理歴史，公民」における『地理総合／歴史総合／公共』又は「理科」における『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を解答科目とし，**二つの出題範囲欄において同じ出題範囲をマークしている場合**は，両方とも採点し，**高得点の方を選択した出題範囲**として取り扱い，**他方は0点（「出題範囲不明」）**として取り扱います。

⑹　その他の注意事項

①　**受験者入室終了時刻（➔3 ページ）から試験終了までは，「地理歴史，公民」及び「理科」の 2 科目受験者の試験時間における第 1 解答科目と第 2 解答科目の間の 10 分間を含め，試験室から退室できません。**

体調不良又はトイレ等により，やむを得ず退室を希望する場合には，手を挙げて監督者に知らせ，その指示に従ってください。

ただし，一時退室が認められた場合でも，休養室などでの受験はできません。

また，一時退室していた時間分の試験時間の延長は認められません。

②　試験時間中に監督者が，出願時に登録した顔写真と受験者の顔の確認を行います。本人確認のために，顔を上げるよう監督者が指示することや，マスクや眼鏡，帽子等を一時的に外すよう監督者が指示することなどがあります。

③　**試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せなど，航空機・自動車・風雨・空調の音など，周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音など，携帯電話や時計等の短時間の鳴動，リスニングのイヤホンやヘッドホンからの音漏れ，周囲の建物のチャイム音など）が発生した場合でも救済措置はありません。**

6　受験上の配慮の通知等

病気・負傷や障害等のために受験上の配慮を申請した者には，「受験上の配慮事項決定通知書」を別途送付しますので，記載内容を確認してください。

また，この「受験上の注意」とは別に，受験上の配慮の内容に応じた「受験上の注意」があります。詳細は「受験上の配慮事項決定通知書」に同封する文書で確認してください。

出願後の不慮の事故等による受験上の配慮については，受験案内の 47 ページを参照してください。

7　リスニング

⑴　リスニングの進行

リスニングは，IC プレーヤーを使用して受験者が個々に音声を聞き取りながら解答する試験です。音声は，左右とも同一の音声がモノラルで流れます。

また，試験時間 60 分の中で，解答開始前に IC プレーヤーの操作準備・作動確認・音量調節を受験者各自で行った後，30 分間で解答します。受験案内の 14 ページにリスニングの進行について記載していますので，確認してください。

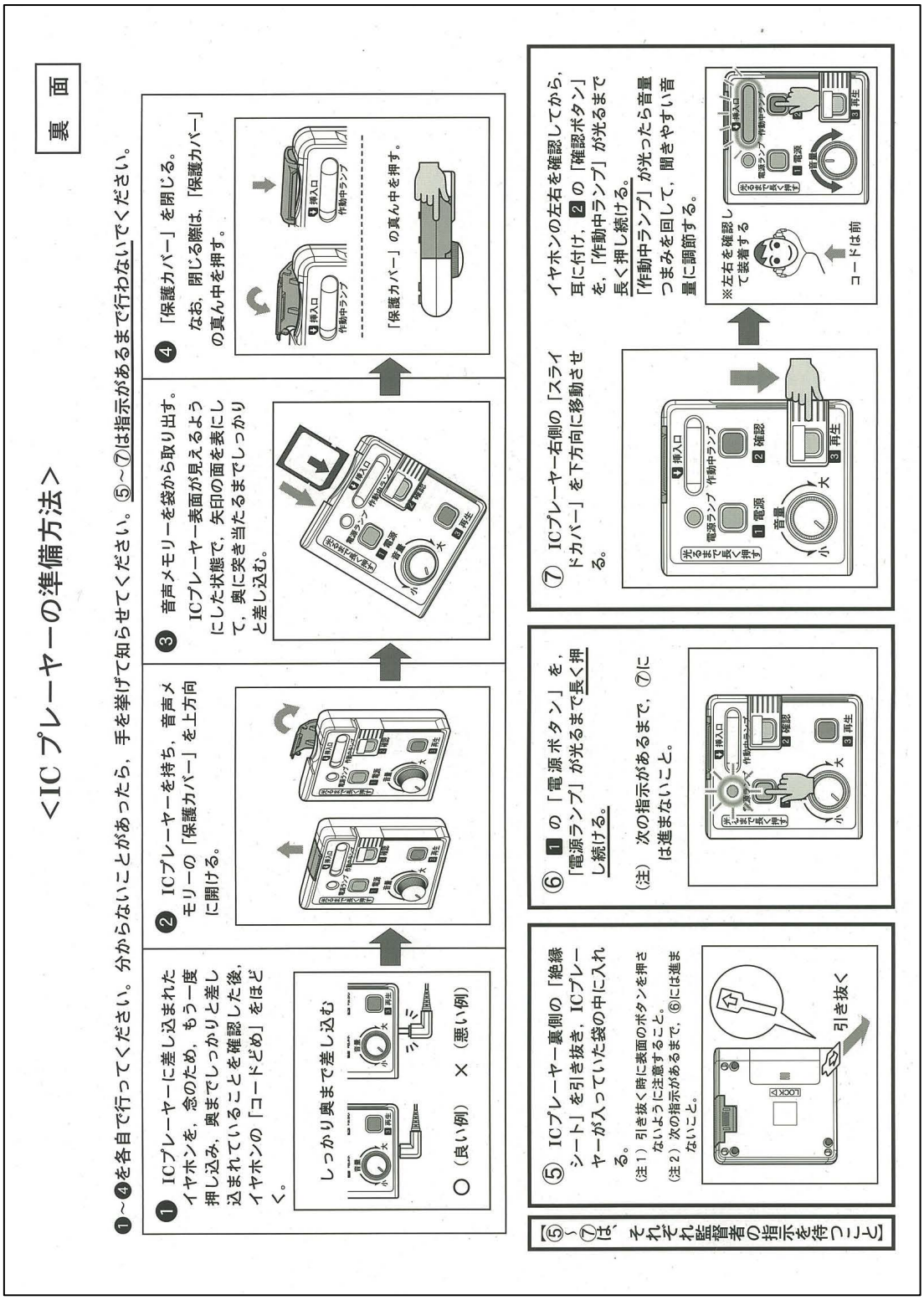
なお，大学入試センターのウェブサイトで，IC プレーヤーの操作を体験できますので，事前に操作体験をしておいてください。

英語リスニングで使用する IC プレーヤー操作ガイド
https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/listening.html
※パソコンのブラウザ（GoogleChrome，Firefox，MicrosoftEdge）に対応

⑵　IC プレーヤーの操作準備

IC プレーヤーの操作準備は，監督者の指示により，解答用紙裏面のイラストを参照しながら行います。このうち，❶～❹の操作については，受験者本人が行います。⑤～⑦の操作については，それぞれ監督者の指示があるまで行ってはいけません。

【リスニング解答用紙裏面】



⑶　解答開始時の IC プレーヤーの操作

「解答はじめ。」の指示の後，解答用紙表面のイラストに従い，IC プレーヤーを操作してから解答を始めます。

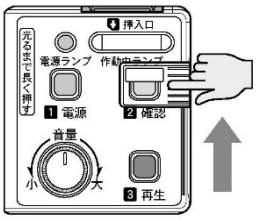
【リスニング解答用紙表面（抜粋）】

「解答はじめ」の指示があったら，次の手順で操作すること。

解答開始時の操作手順

1　イヤホンの左右を確認しながら，耳に付ける。

2　「スライドカバー」を上方向に移動させる。



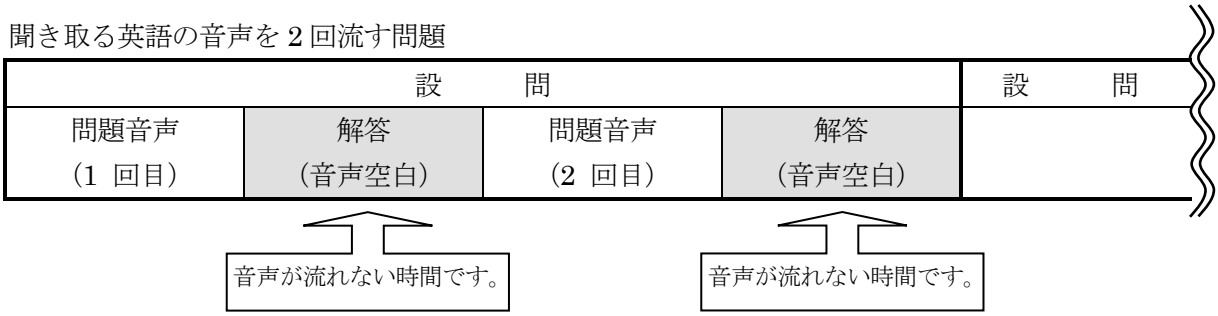
3　3 の「再生ボタン」を「作動中ランプ」が光るまで長く押し続ける。

以後は，問題音声の進行に従って，解答しなさい。

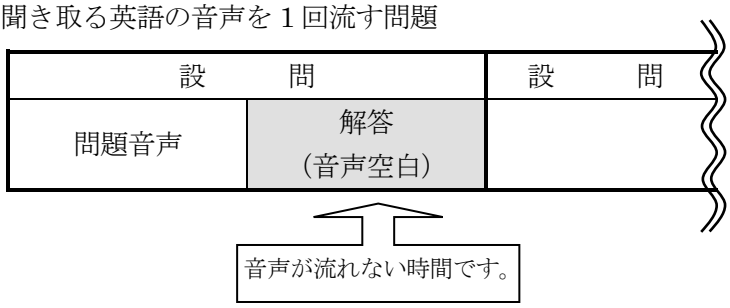
⑷　解答上の注意事項

①　聞き取る英語の音声を 2 回流す問題と，1 回流す問題があります。また，問題文を読むため，又は解答するために音声が流れない時間があります。**音声が流れていなくても，IC プレーヤーの上部にある「作動中ランプ」が光っていれば故障ではありません。**

聞き取る英語の音声を 2 回流す問題



聞き取る英語の音声を 1 回流す問題



②　解答は，必ず設問ごとに解答用紙にマークします。解答を問題冊子に記入しておいて，**解答時間の途中や最後にまとめてマークする時間は用意されていません。**

⑸　試験時間中の注意事項

①　試験時間中は，他の受験者の聞き取りに支障を来す不必要な音をたてることがないよう注意してください。

②　IC プレーヤーには，「電源」，「確認」，「再生」の三つのボタンがあります。これらの**三つのボタンは**単にひと押ししただけでは，作動しません。**ランプが光るまで長く押し続けてください。**

③　音声メモリーを差し込み，保護カバーを閉じた後は，保護カバーを開けないでください。

④　IC プレーヤーのボタンを長く押し続けてもランプが光らなかったり，音声が流れなかったりした場合，音声が途中で停止するなど聞き取れなくなった場合，問題冊子の乱丁，落丁や印刷不鮮明で解答に支障がある場合は，ためらわずに黙って手を高く挙げて，監督者に知らせてください。
　なお，**試験が終わってからこれらを申し出ても，救済措置（再開テスト）はありません。**

⑤　解答時間中の質問は，一切受け付けません。

⑥　体調不良やトイレ等やむを得ない場合には，一時退室を認めることがありますが，一時退室が認められた場合でも，問題音声を停止することはできません。
　また，一時退室していた時間分の試験時間の延長は認められません。

⑹　解答時間中の事故等と再開テスト

①　解答時間中に，監督者に申し出なければならない事由が発生した場合には，黙って手を高く挙げて知らせてください。その後，監督者から所定の用紙が受験者に手渡されます。監督者とのやりとりは，周囲の受験者の解答の妨げにならないよう，声を出さずにこの用紙を使用して**筆談**で行います。

②　解答時間中に IC プレーヤーの不具合や，問題冊子の乱丁，落丁や印刷不鮮明を申し出た場合は，監督者の指示で試験を中断することがあります。中断を指示された受験者に対しては，試験終了後に再開テストを実施します。

③　再開テストでは，新しい IC プレーヤーにより同じ試験問題を使って，中断した設問からテストを再開します。

④　体調不良等により退室が必要となる受験者がいる場合は，監督者から周囲の受験者に対し，試験の中断を指示することがありますので，その際は，監督者の指示に従ってください。中断を指示された受験者は再開テストを受験することができますので，試験終了まで静かに待機していてください。

⑤　不具合のあった IC プレーヤー一式は，回収後，原因を調査します。調査の結果，虚偽の申出をしたことが判明した場合は不正行為となることがあります。

⑺　試験終了後の IC プレーヤー等の取扱い

　IC プレーヤー，イヤホン及び音声メモリーは，試験終了後回収しますので必ず返却してください。これらを試験室から持ち出すと，不正行為となることがあります。
　なお，問題音声は，試験終了後に大学入試センターのウェブサイト（➔26 ページ）からダウンロードすることができます。

8　試験問題冊子及び解答用紙

⑴　試験当日，受験者に配付される試験問題冊子のうち，「地理歴史，公民①」，「外国語(別冊)」，「理科」及び「数学①」の冊子は，複数の科目が同一の冊子に編集されています。**試験当日は配付される試験問題冊子の注意事項を必ず読んでください。**

問題冊子の名称	左の冊子に含まれている科目等
地理歴史，公民①	『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』『公共，倫理』『公共，政治・経済』
地理歴史，公民②	『地理総合／歴史総合／公共』
国語	『国語』
外国語〔『英語(リーディング)』〕	『英語(リーディング)』
外国語（別冊）	『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』
外国語〔『英語(リスニング)』〕	『英語(リスニング)』
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』 『生物』『地学』
数学①	『数学Ⅰ，数学A』『数学Ⅰ』
数学②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』
情報	『情報Ⅰ』

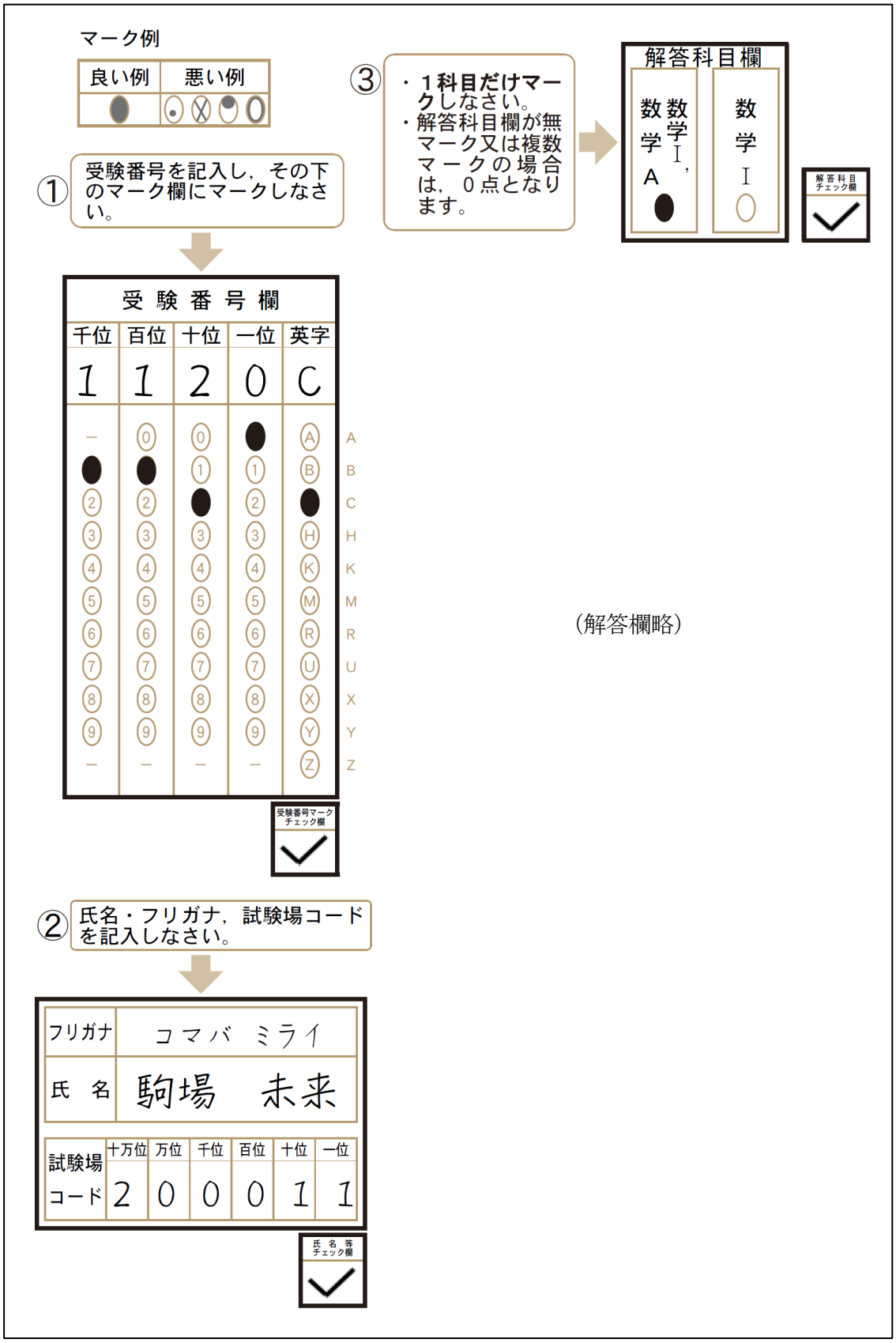
⑵　選択問題がある科目を解答する場合は，選択した問題番号に対応した解答欄にマークすることになりますので，間違えないよう十分注意してください。

⑶　試験問題冊子の注意事項等

大学入試センターのウェブサイトの「試験問題冊子の注意事項及び解答用紙の様式について」（➔12ページ）に，試験問題冊子と解答用紙の一部及び選択問題がある場合の解答方法等を掲載していますので，あらかじめ確認しておいてください。

⑷　**解答用紙の正しいマーク・記入例**

（試験場コード 200011，受験番号 1120C の**駒場未来**が『**数学Ⅰ，　数学Ａ**』を解答する場合）



解答科目欄の不適切なマーク例は，大学入試センターのウェブサイト（➔1 ページ）で確認することができます。

9　追試験の実施

⑴　実施期日等

実施期日は**令和 8 年 1 月 24 日（土），1 月 25 日（日）**です。

（注 1）　追試験についての追試験はありません。

（注 2）　1 月 24 日（土），1 月 25 日（日）に追試験を実施できない場合は，この期日より後にできるだけ速やかに実施します。その場合は，追試験の受験許可者には別途通知します。

⑵　追試験場

追試験の試験場は，原則として全国を 2 地区に分け，地区ごとに設定します。それぞれの試験場及び所在地などの詳細については，大学入試センターのウェブサイト（➔26 ページ）から確認してください。

⑶　追試験の受験申請

（申請する場合には，あらかじめ，受験票に記載されている「問合せ大学」に電話連絡してください。）

①　③のア又はイ（➔21 ページ）に該当する事由により本試験を受験できない場合，**追試験の受験申請をすることができます。**

②　追試験の受験許可の単位は，原則として 2 日分又は 1 日分の教科・科目です。

ただし，1 日目又は 2 日目において，一つの教科・科目でも受験した場合，追試験の対象となる教科・科目は次のとおりです。

ア　監督者から解答開始を指示される前に体調不良等を申し出た場合は，当該教科・科目以降（すでに終了した教科・科目は対象外）

イ　監督者から解答開始を指示された後に体調不良等を申し出た場合は，当該教科・科目は対象とならず，次の教科・科目以降

③　受験票に記載されている「問合せ大学」において，次のア又はイの申請受付時間内に限り追試験の受験を申請することができます。申請受付時間経過後は，いかなる理由があっても追試験の受験を申請することはできません。

また，試験時間の繰下げを実施した試験場や受験上の配慮により試験時間を延長する受験者の場合には，当該試験の終了時刻が申請受付の終了時刻となり，通常の終了時刻（1 日目 18：20，2 日目 18：00）とは異なるので注意してください。

ア　**疾病・負傷**による場合

申請受付時間 （注1）	・1月13日から1月16日まで　9：00～17：00 ・1　日　目（1月17日）　8：00～18：20 ・2　日　目（1月18日）　8：00～18：00
申　請　方　法 （注2）	(ｱ)　本人又は代理人が，受験票に記載されている「問合せ大学」に電話連絡した上で，申請受付時間内に「受験票」と「医師の診断書」（治療期間が明記されたもの）を「問合せ大学」に持参し，申請してください。 　許可された場合は，追試験受験許可書が交付されます。 (ｲ)　申請受付時間内に本人又は代理人が「問合せ大学」に行けない場合は，申請受付時間内に疾病・負傷の状況を，「問合せ大学」に電話連絡し指示を受けてください。 (ｳ)　試験当日，試験場に到着してから体調不良になった場合は，監督者や試験場の担当者に申し出て，指示を受けてください。

（注1）　2日目に，1日目分の追試験の受験を申請することはできません。

（注2）　インフルエンザ，ノロウイルス，新型コロナウイルス等の感染症に罹患し，治癒していない場合や発熱・咳等の症状があるなど，体調が万全でない場合は，感染拡大を防止するため，(ｱ) の方法で代理人が申請する，又は (ｲ)の方法で申請してください。

イ　**試験場に向かう途中の事故又はやむを得ない事由**による場合

（事故等が生じた場合は，速やかに受験票に記載の「問合せ大学」に電話連絡してください。）

申請受付時間	試験当日，試験場に向かう途中で事故にあった場合又は交通機関の遅延・予定外の運休等にあった場合 ⇨	その日の試験終了時刻まで
	やむを得ない事由がある場合 やむを得ない事由の例 （・両親又は親族等の危篤，死亡 ・自宅の火災） ⇨	・1月13日から1月16日まで 9：00～17：00 ・1　日　目（1月17日） 8：00～18：20 ・2　日　目（1月18日） 8：00～18：00
申　請　方　法	(ｱ)　本人又は代理人が，受験票に記載されている「問合せ大学」に電話連絡した上で，申請受付時間内に「受験票」と「事故又は事由が確認できる証明書等」を「問合せ大学」に持参し，申請してください。 　許可された場合は，追試験受験許可書が交付されます。 (ｲ)　申請受付時間内に本人又は代理人が「問合せ大学」に行けない場合は，申請受付時間内に事故等の状況等を，「問合せ大学」に電話連絡し指示を受けてください。	

⑷ **追試験の受験を許可された場合，許可された 教科・科目については本試験の受験はできません。**

⑸ 追試験における「外国語」の別冊子試験問題は科目ごとに分かれた冊子になっています。別冊子試験問題の配付希望を登録した者が，追試験を受験する場合は，**追試験の受験申請時に申請した科目の冊子のみを配付します。**

なお，代理人が追試験の受験申請を行う場合には，あらかじめ志願者本人に追試験における「外国語」の受験科目を確認した上で申請してください。

⑹ 受験上の配慮

① 本試験において許可された受験上の配慮は，原則として，追試験においても行います。

② **追試験の受験を申請する事由に起因して，新たに受験上の配慮を希望する者に対しては，申請に基づき，大学入試センターで審査の上，受験上の配慮事項を決定します。**

【追試験において新たに受験上の配慮を希望する場合の例】
- 疾病により入院していたため，本試験を受験できず，追試験の受験を申請。免疫力が低下しており，易感染状態のため，追試験では個室での受験を希望する。
- 本試験の試験場に向かう途中，交通事故により右足を骨折。本試験を受験できず，追試験の受験を申請。追試験では車椅子の持参使用を希望する。

など

③ 新たに受験上の配慮を希望する場合の申請方法

追試験の受験申請の際に，「医師の診断書」を持参し，配慮を希望する旨を申し出てください。「医師の診断書」には，希望する全ての受験上の配慮事項について，それぞれ必要とする具体的な理由を，医師に必ず記入してもらってください。

なお，受験上の配慮に関する具体的な内容については，受験案内の 18 ページを参照してください。

10　正解・平均点等の発表

⑴　正解等の発表

大学入学共通テストの本試験，追試験・再試験の正解及び配点については，各日の全試験終了後に，その日行われた科目分を大学入試センターのウェブサイト（➔26 ページ）で発表します。

⑵　平均点等の発表

大学入学共通テストの平均点等については，中間発表を令和 8 年 1 月 21 日（水）に，最終発表を 2 月 5 日（木）に，いずれも大学入試センターのウェブサイト（➔26 ページ）で行う予定です。

⑶　得点調整実施の有無の発表

得点調整の実施の有無については，1 月 23 日（金）に発表し，得点調整を行う場合は，対象となる科目の得点の換算表を大学入試センターのウェブサイト（➔26 ページ）で発表する予定です。

⑷　段階表示の換算表の発表

段階表示の換算表については，1 月 23 日（金）に，大学入試センターのウェブサイト（➔26 ページ）で発表する予定です。

11　試験成績の大学への提供方法

⑴　大学入試センターは，大学入学共通テストを利用する各大学からの請求に基づき，当該大学の入学志願者の教科・科目の試験成績（「科目別得点」及び「段階表示」）を，請求した各大学に対して提供します。各大学の教科・科目の指定については，各大学の募集要項等で確認してください。

⑵　『国語』の特定分野を利用する大学へは，『国語』の得点及び段階表示とは別に出題分野別（「近代以降の文章」「古典（古文，漢文）」）の得点も提供します。

⑶　「地理歴史，公民」で 2 科目を受験した場合又は「理科」で 2 科目を受験した場合は，大学からの請求に基づき「第 1 解答科目，第 2 解答科目別の得点，その合計点及び第 1 解答科目，第 2 解答科目別の段階表示」又は「第 1 解答科目の得点及び段階表示」のいずれかを提供します。

なお，大学が 1 科目のみの得点を利用する場合には，**第 1 解答科目の得点及び段階表示を優先して利用する**ことがありますので，必ず，志望大学の募集要項等で確認してください。

⑷　『地理総合／歴史総合／公共』を受験した者については，科目別得点（選択した出題範囲の合計点）及びその段階表示に加え，出題範囲別（「地理総合」「歴史総合」「公共」）の得点及び段階表示を提供します。

⑸　『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を受験した者については，科目別得点（選択した出題範囲の合計点）及びその段階表示に加え，出題範囲別（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）の得点及び段階表示を提供します。

⑹　『英語』の成績については，リーディング，リスニング別の得点及び段階表示を提供します。

⑺　大学入学共通テストを利用する各大学の教科・科目の指定と，指定された教科・科目数を超えて受験した場合の大学への成績提供を例示すると，次表のとおりです。

入学志願者に対する大学の指定	大学入試センターから大学への成績提供
「国語」「外国語」の２教科から１教科選択	当該大学の入学志願者が「国語」「外国語」を受験した場合，この２教科の得点及び段階表示
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』の５科目から１科目選択	当該大学の入学志願者が「理科」で２科目を受験した場合，第１解答科目として『物理』を，第２解答科目として『化学』を解答していれば，大学からの請求に基づき，この２科目の得点，合計点及びこの２科目の段階表示又は第１解答科目の『物理』の得点及び段階表示のいずれか

12　東日本大震災に伴う令和８年度大学入学共通テストに関する措置について

令和８年度大学入学共通テストにおいて，東日本大震災で被災した志願者の検定料等を免除する措置を実施します。

詳しい措置内容や必要書類等については，大学入試センターのウェブサイトを確認してください。

東日本大震災に伴う令和８年度大学入学共通テストに関する措置について
https://www.dnc.ac.jp/kyotsu/shiken_jouhou/r8/#shinsai

（参考）

○　受験番号票

試験当日に各受験者の机上に貼付されていますので，監督者の指示に従い，対応してください。

（原寸　100mm×100 mm）

受験番号　１００１Ａ

机の上に置けるもの ※これら以外は，かばんなどにしまいなさい。

○受験票，○黒鉛筆，鉛筆キャップ，○メモ用のシャープペンシル，○プラスチック製の消しゴム，○鉛筆削り，○時計，○眼鏡，○ハンカチ，○目薬，○ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）

受　験　者　心　得

1　監督者の指示に従うこと。

2　不正行為について

①　不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は，監督者がカードを用いて注意します。

②　不正行為を行った場合には，その場で受験の中止と退室を指示され，それ以後の受験はできません。
　また，受験した大学入学共通テストの全ての教科・科目の成績を無効とします。

試験当日の所持品チェック欄	
1　**受験票**（マイページから各自で取得・印刷したもの。）	
2　**今年度より持参必須**　**身分証明書**（生徒証・学生証・マイナンバーカード・パスポート・運転免許証・在留カード等（氏名及び生年月日の記載があり，顔写真付きで，試験日において有効なもの。））	
3　**黒鉛筆**（H，F，HB に限る。）	
4　**プラスチック製の消しゴム**	
5　**鉛筆削り**（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）	
6　**時計**（辞書，電卓，端末等の機能があるものや，それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）	
7　受験票に「上履き持参」と表示してある場合は，**上履き・下履きを入れる袋**	

■ 大学入学共通テストについての問合せ先

○　**試験場や追試験の受験申請等について**

受験票に記載されている**「問合せ大学」**まで問い合わせてください。

○　**その他，試験全般に関する内容について**

独立行政法人大学入試センター事業第 1 課まで問い合わせてください。

TEL　03-3465-8600

9:30～17:00（土・日曜，祝日，12 月 29 日～1 月 3 日を除く）

（電話での問合せが難しい障害等のある方専用 FAX
FAX　03-3485-1771）

○　**大学入学共通テスト出願サイト**

https://examinee.dnc.ac.jp/examinee

○　**大学入試センターウェブサイト**

今後，必要な連絡事項が生じた場合は，こちらにおいて情報を提供します。

https://www.dnc.ac.jp/

ウェブサイトに新たな情報を掲載した際は，以下の SNS でもお知らせします。

公式 X（旧 Twitter）　　LINE 公式アカウント